

大人 ~~1,200円~~ → 1,100円

高校生・大学生 ~~800円~~ → 700円

※当日券をお買い求めの際、この割引券を特別展「恐竜戦国時代の覇者! トリケラトプス」会場入り口チケット売り場でお渡しください。

※本券でのご入場はできません。

※本券1枚で4名様までご利用いただけます。

## 大人気恐竜 トリケラトプスを徹底解剖!

ティラノサウルスと並び、トリケラトプスは高い人気と知名度を誇る恐竜です。

本展では、トリケラトプス、そしてその仲間たちを最新学説に基づき徹底解剖! 知っているようで知らない、新たなトリケラトプス像を再発見していただきます。

## 謎に包まれた大陸 ララミディアを解説

本展の舞台、ララミディア大陸は現在の北アメリカ大陸の5分の1ほどの面積しかありませんでした。

そこではなぜ何種もの巨大植物食恐竜が共存できたのでしょうか? 本展では、ララミディア大陸の謎について、最新学説を紹介いたします。

## ともに生きた 恐竜たちも展示



トリケラトプスの最大の敵は、ティラノサウルスだと言われています。

本展では、後期白亜紀に見られたであろう、ティラノサウルスvsトリケラトプスの様子を全身骨格でダイナミックに再現します。

## 様々な角とフリルを持った ケラトプス科恐竜を一堂に展示



トリケラトプスとその仲間の大きな特徴は、角とフリルにあります。しかし、その数や形は同じではなく、多種多様です。

本展では、「戦国時代」の様相を呈した後期白亜紀に生きたケラトプス科恐竜の頭骨をずらりと展示。多様化した角とフリルを見比べることができる貴重な機会です。

## 講座 イベントの案内

### ★子どもワークショップ 「ずら〜り! トリケラ ミニびょうぶ」

あれあれ、みたことがないトリケラトプスがいっぱい。ツルツルあたま? たれさがったツノ? ビヨーンとのびたフリル? ツノやフリルのナゾをかんがえて、トリケラトプスのなかまがずら〜りとならぶ「ミニびょうぶ」づくりに挑戦だ!

### ★折り紙教室「いろいろな恐竜を作ってみよう」

和紙折り紙作家の清原なつみさんが講師となり、本展で展示しているトリケラトプスのオリジナル恐竜折り紙を作ります。子どもから大人まで誰でも楽しめる折り紙教室です。

- 開催日** 5月17日(土)、18日(日)
- 時間** 午前10時30分〜、11時30分〜、午後1時30分〜、2時30分〜、3時30分〜(各回約40分のプログラム)
- 場所** 花と緑と自然の情報センター2階 特別展会場入口付近
- 受付** 当日、各回スタートの10分前より開始
- 定員** 各回15名(プログラムの内容と安全確保のため、定員になり次第受付を終了します。また、途中参加はできません。)
- 対象** どなたでも参加できます。(小学生未満は保護者同伴)
- 材料費** 100円
- その他** プログラムの終了時間は、おさまの制作されるペースによって変わります。高校生以上の方が参加される場合は、特別展入場券(半券も可)が必要です。
- 申込み** 申込みは不要です。

- 日時** 5月17日(土) 午後3時~4時
- 会場** 花と緑と自然の情報センター1階 セミナールーム
- 定員** 各回24名 **対象** どなたでも参加できます。
- 参加費** 無料。ただし、参加には特別展入場券(半券も可)が必要。
- 申込み** 申込みは不要です。
- 参加券は、イベント当日、各回の開始30分前から特別展出口付近で配布します。

他にも缶バッジ作りや発掘体験など、様々なイベントがございます。詳細は「恐竜戦国時代の覇者! トリケラトプス」のHP (<http://triceratops-ex.com/>) をご覧ください。

## ◆学芸員のおススメコレクション◆

### 大阪市立東洋陶磁美術館 青花辰砂蓮花文壺

たっぷりとした余白のなかで蓮の清楚な茎がすらりと伸び、葉には淡いコバルトがのり、酸化銅の辰砂が花と蕾をきわだたせています。北宋の儒学者・周敦頤(1017~73)が「愛蓮説」で、「中空でまっすぐに伸び、蔓も枝もつけず、遠くまで香りを漂わせてさらに清らかさを増し、高く凜と立つ」と詠ったような、まさに「花中の君子」の趣です。中国には蓮花を一輪のみ描く「一品清廉」という画題があり、清廉で高潔な人格を意味します。本作は、朝鮮半島にも伝わった「愛蓮説」および「一品清廉」のこうしたイメージを継承しており、儒教の理想を体現した君子の雰囲気をも濃厚にたたえています。

(大阪市立東洋陶磁美術館学芸員 鄭銀珍)

※今回紹介した作品は、2階の企画展示室「蓮一清らかな東アジアのやきもの × 写真家・六田知弘の眼」にて7月27日(日)まで公開しています。(読者プレゼントあります。p.23参照。)

大阪市立東洋陶磁美術館 **所在地** 〒530-0005 大阪市北区中之島 1-1-26(大阪市中央公会堂東側) **TEL** 06-6223-0055  
**FAX** 06-6223-0057 **アクセス** 地下鉄・京阪電車「淀屋橋」1号出口、「北浜」1-26号出口それぞれより約400m、京阪中之島線「なにわ橋」1号出口すぐ **ホームページ** <http://www.moco.or.jp>



青花辰砂蓮花文壺 朝鮮時代・18世紀後半  
大阪市立東洋陶磁美術館蔵  
撮影 六田知弘

